

いいだ 市議会 だより

No. 212

IIDA City council



議会の今をお届けします

2019年
平成31年 4月19日

編集／広報広聴委員会

発行／飯田市議会

〒395-8501 長野県飯田市大久保町 2534

第1回定例会…2p / 一般質問…4～6p / 委員会…8～11p

大宮通り桜まつり

～満開の桜の下、
多彩な催しを楽しむ～



議会だより リニューアル パイロット版
～7面に関連記事～

平成31年

第1回 定例会

平成31年第1回定例会を平成31年2月26日から3月20日まで23日間にわたって開催しました。

平成31年2月26日の開会日に執行機関側から報告案件1件、人事案件5件、条例案件15件、一般案件15件、予算案件21件の57件の議案の提出があり、中日である3月7日に人事案件1件、一般案件1件が追加議案として提出されました。慎重な審議の結果、これらの議案を全て可決しました。

人事案件では、任期満了を迎える教育長について、引き続き代田昭久氏を任命することに同意しました。また、佐藤健氏の辞任に伴う副市長の選任について、木下悦夫氏を選任することに同意。2期8年にわたって市政へ尽力された佐藤氏に感謝の意を伝えました。

3月25日に議長記者会見を開催

第1回定例会を振り返るとともに、各委員長から2年間にわたる所管事務の調査研究に関して報告がありました。また、次年度の議会報告会の開催方針を発表しました。



過去
最高額

新年度当初予算案を巡って、集中審議

総務・社会文教・産業建設委員会における質疑を紹介します。

平成31年度は、市総合計画「いいだ未来デザイン2028」の前期4年間の折り返しの年にあたります。一般会計当初予算は、リニア開業を見据え、目指す都市像の実現に向けて編成され、予算総額は463億5千万円と前年度比4億9千万円増の過去最高額が計上されました。

Q 車両管理事務に関して、公用車へのドライブレコーダーの整備状況は。

A これまで車両更新時に整備を進めているが、全体の2割に満たない整備状況にある。平成30年度は交通事故が多発したこと、事故抑止のためにも、当面更新予定のない車両103台について平成31年度に整備する。

Q IIDAブランド推進事業として、東京オリンピック・パラリンピックに向けて実施する事業は何か。

A 具体的な内容検討はこれから。包括協定を結ぶ津田塾大学との連携も想定。大会期間中に伝統芸能を東京で披露したい提案もある。有効な事業となるよう準備を進めていく。

Q 20地区田舎へ還ろう戦略支援事業に関して、移住体験のためのお試し住宅の整備や定住に向けた取り組みの計画は。

A 龍江の公的住宅1棟を転用し、改修する。就農や新たなお試し滞在補助の仕組みと組み合わせる定住を推進する。

Q おひさまのエネルギー利用推進事業に関して、年間20件が見込まれている蓄電システム設備補助金の金額は。

A 蓄電システムの補助制度は、設置費用の3分の1以内、補助金額10万円を上限としている。また、太陽光発電設備とセットで導入する場合は、上限15万円。

Q 地域福祉推進事業に関して、ごみ出し困難世帯に対する支援の拡充とは。

A この支援は、市内のごみ収集事業者から地域貢献活動としての申し出があり事業化する。対象者は民生委員や地域包括支援センターに調査を依頼して選定。対象世帯の玄関先で個別収集を行う予定。

Q 教育相談事業に関して、不登校児童・生徒が増加傾向にあるようだが、対策として子ども居場所づくりをどのように進めているか。

A 通常の教室以外の場所や中間教室など、少しでも登校しやすい場所を設けている。また、支援策として不登校支援連絡会で情報共有を図るほか、家から出られない児童生徒には家庭訪問を実施している。

Q 小中学校ICT教育推進事業に関して、市内の3中学校区をモデル校に指定し、実証実験を進めているが、事業の進捗状況と、モデル校以外の学校への展開の見込みは。

A 当初5年の整備を計画していたが、小中学校への空調設備設置に取り組むため、計画年数を7年とし、国が目標としている整備目標水準に向けて2022年までの完了計画に変更した。竜東中学校のICT教育の取り組みを他の学校に展開していく予定である。

Q 飯田コミュニティスクール推進事業に関して、保護者や地域の理解を深める取り組みも必要であるが、どの様に取り組むか。

A 学校運営協議会の審議の内容や、学校支援ボランティアの活動を、学校日より、PTA会報、地区の広報などを使って周知している。また、教育委員会では、教育情報紙に取り組みを掲載し、周知啓発を行っている。

Q 体育施設整備事業に関して、競技団体からグラウンドの芝生化への要望など、施設充実等の要望が出されているが、その方向性は。

A 平成30年度内に社会体育施設のあり方をまとめ、方向性を示す予定だったが、市の財政との関係や南信州広域連合でのコンベンション、屋内体育施設の動向から方向性を示すことはできないと判断した。また、グラウンドの芝生化は、競技力向上面での意義があると捉えているが、現状では方向性を示すことはできない。

Q リニア推進事業に関して、発生土置き場として下久堅地区と龍江地区の2カ所が予定されているが、それ以外の状況は。

A 発生土置き場の計画はJR東海が進めているが、候補地については長野県を窓口として、市町村が情報を提供している。飯田市内の候補地は全部で60カ所あるが、距離や規模、周辺の環境などを判断材料として、JR東海が絞り込みをしており、飯田市内は下久堅小林地区と龍江番入寺地区の2カ所。県内の発生土置き場は、不足している状況とJR東海より聞いており、長野県と連携をする中で、調整をしていく。

環境などを判断材料として、JR東海が絞り込みをしており、飯田市内は下久堅小林地区と龍江番入寺地区の2カ所。県内の発生土置き場は、不足している状況とJR東海より聞いており、長野県と連携をする中で、調整をしていく。

Q 天龍峡まちづくり支援事業に関して、名勝天龍峡ガイダンス施設の整備予定は。

A 平成29年度にガイダンス施設の基本整備計画をつくり、平成30年度にはプロポーザル方式により施設内容を決定し、現在、国等と調整をしている。今年の紅葉シーズンを目途として完成を予定している。



名勝天龍峡

特養飯田荘建設事業の 工事契約の変更に 関して 質疑が集中

社会文教委員会の審査では、「旧飯田荘の建物解体撤去工事を進める過程で、工事内容の変更が必要となり、やむを得ず契約金額を増額変更したい」とする執行機関側の説明に対して、質疑が集中しました。

Q アスベストを含む建材の使用は、解体工事の設計段階で判らなかったか。

Q 隣接駐車場の電源設備の付け替えや消火設備の増設等は、なぜ、設計段階から費用計上できなかったか。

Q 昨年から二度にわたる多額の増額変更となるが、当初の設計は適正か。

Q 今回の変更はやむを得ないものとしても、設計段階で十分な事前調査が必要では。

Q 議案説明に当たって事前に資料の用意が必要ではないか。

委員会審議の様子は、動画配信しています。
YouTubeのサイトで
「飯田市議会委員会」と検索ください。

反対討論

本会議において、一般会計予算案に対し、「リニア関連事業が今後の市民にどれだけ利益を与えるか不明瞭。一般財源は、リニア推進ではなく、福祉・教育・災害対策など市民の生命や暮らしに直結する分野に充てるべき」との趣旨から反対討論が行われましたが、採決の結果、原案どおり決定されました。

Q 環境技術開発センター運営事業に関連して、エス・バードが完成し、そこにもインキュベート施設があるので、桐林の環境技術開発センターの機能をエス・バードへ集積することを検討しては。

A エス・バードは、信州大学や工業技術センターもあり、高度な活用も期待できる。今後、運用する中で方向性を検討していきたい。

ご当地ナンバープレートの創設 について

清水 優一郎 議員（会派のぞみ）



Q 「南信州ナンバー」の創設に向けて、南信州広域連合の中で飯田市がリーダーシップを発揮してはどうか。

A ご当地ナンバーの創設は、リニア・三遠南信時代を見据え、当地域の知名度向上や、イメージアップを図る有効な手段だと考える。実現に向けての進め方や、そのタイミングについて、南信州広域連合の中でも議論をしていきたい。

■かぶちゃん農園等関連会社の倒産 ■災害発生時の広報 ■（仮称）天龍峡大橋の開通を見据えた取り組み

ズバリ 市政を問う!

第1回定例会の一般質問の概要を紹介します。(17名・質問順)

■は、そのほかの質問項目

一般質問の様子は
YouTubeで
動画配信しています

親元就農者への支援は

竹村 圭史 議員（会派のぞみ）



Q 親元就農者に対する支援を手厚くしてほしいという声があるが、どのように受け止めているか。

A 経営基盤のない新規就農者に対する国の給付金と、親元就農者に対する県と市の支援金に大きな差があることから、親元就農者への支援の充実を求める声があると考えている。国や県の支援では行き届かない部分を市として支援するために、まずは親元就農者の声をしっかりと聴き、どの様な支援が必要なのか調査していきたい。

リニア関連の財政出動について

岡田 倫英 議員（会派のぞみ）



Q 整備内容を「開業時まで」と「開業後に段階的」に整理し、財政負担の平準化を図っては。

A 駅周辺整備に関して、今後、基本設計をまとめる中で判断するが、官民連携した施設の設置・運営や、段階的な整備が望ましい施設等の検討が必要と考える。駐車場や広場については、これまでも柔軟性や可変性について議論しているが、事業の手法としてどう組み立てられるか検討していく。

■郷土の偉人・先人顕彰について

中山間地域振興計画の 今後の方向性は

福澤 克憲 議員（市民パワー）



Q 移住定住の促進、空き家の活用に向けた取り組みとして、農地法3条許可に係る下限面積の検討はどうか。

A 農地法3条許可の要件には、面積要件の他に、「農地の全てを効率的に利用する」「必要な農作業に常時従事する」とも含まれる。そのため、下限面積の引き下げについては、移住者の農地利用のニーズも捉えながら検討する必要がある。

■「飯田版」地域循環共生圏の取り組み ■幼児教育無償化への対応と、飯田市の施策の方向性について

指定管理者制度でのガバナンスと マネジメントは

原 和世 議員（会派みらい）



Q 設置者のガバナンスはどうあるべきか。施設のマネジメントに対し、どう設置者責務を負うのか。

A 地域の皆さんや関係者、指定管理者が情報を共有し、経営が成り立つ工夫を重ねることが大切であり、そのために市が責任を果たしていく。経営の透明性を確保し、それぞれが対等な立場で役割や責任を共有することを通じ、市として一層のマネジメント力を発揮できるよう取り組む。

■市政経営 ■土地の管理政策 ■更生保護女性会について

様々な機会や媒体での 安全・安心メール普及の考えは

小林 真一 議員（公明党）



A 市民の皆さんが、関連情報
をより効果的に受け取る
ことができるよう、今後も様々
な機会を通じて、安全・安心
メール登録の普及拡大に努め
ていく。現在、母子手帳と一緒
に渡している「みんな子育て
ナビ」には安全・安心メールの
QRコードを掲載しており、2
019年度に作成予定の祖父
母向け子育てガイドブックに
も掲載したい。

Q メール登録用QRコード
を作成予定の祖父母向け
子育てガイドブック等に掲載
し、更に普及する考えは。

公契約条例の制定について

福沢 清 議員（会派みらい）



Q 飯田市は公契約条例の必
要性は5年前に認めてい
るので、制定に向けて取り組
みを急ぐべきでは。

A 公契約条例の制定に向け、
既に制定している他の自
治体の取り組みを参考に検討
してきている。条例としての
義務付けや、関係者の責務のあ
り方などについて、研究を重ね
る必要があると感じている。
条例制定を視野に、まずは、
「飯田市公契約に関する基本
方針」の理解を広め、方針に基
づいた取り組みを進めていく。
■外国人材の受け入れ拡大について

小・中学校での危機事案発生時 の対応と心のケアについて

古川 仁 議員（日本共産党）



A 学校では、火災発生以降の
児童の様子に注視している
が、現時点で不調を訴えている
児童の報告はない。児童・生徒
のサインを見逃さないよう、教
職員が注意深く観察している。
また、心配な児童・生徒につい
ては、教職員間で情報を共有
し、連携しながら学校全体で対
応するとともに、必要に応じて
スクールカウンセラーなどの専
門機関と連携している。

Q 危機事案発生以降、不調を
訴える児童はいたか。また、
今後の心のケアをどう進める
か。

昨年の台風24号のような浸水を どう防いでいくか

木下 徳康 議員（会派のぞみ）



Q 即座にひ門の操作判断をす
るため、降雨量をもとに判
断基準を設けたらどうか。

A 現在、ひ門操作はマニュアル
に基づき行っているが、
判断基準については、これまで
の経験も踏まえて考える必要が
ある。また、降雨量の情報は、
気象庁や国・県が設置した雨量
計から得ているが、今後、局地的
な集中豪雨が想定される中
で、ピンポイントの雨量の把握
の必要性を感じ、整備の検討を
進めている。
■災害時応援協定について

子どもの心と身体を どう守るか

山崎 昌伸 議員（会派のぞみ）



A 当該提言は、大津市のいじ
め自殺事件の調査報告書に
あり、飯田市教育委員会として
も真摯に受け止める。「いじめ
の有無や、数の多い少ないを評
価するのではなく、日常の児
童・生徒の理解、いじめの未然
防止や早期発見、いじめが発生
した際の迅速かつ適切な情報共
有や組織的な対応等が評価され
る」ということを周知・徹底し
てまいりたい。

Q 「いじめを積極的に認知
し、有効な対応をした学
校、教員こそ評価されるべき」
についての認識は。

市民の心の健康増進体制は

塚 平一 成 議員（会派のぞみ）



Q 飯田の善さを生かした、す
べての人がいきいきと暮ら
していける「心の健康推進像」
をどう目指すか。

A 飯田市の特徴は、いいだ未
来デザイン2028で掲げ
るように、各地区で独自のまち
づくりが行われ、その地域の個
性を生かすことにある。心の健
康には、地域の中で善い関係を
築くことも大切であり、結いの
心を生かせる地域にしていくな
どで、心の健康推進が図れると
考える。
■障がい者の文化芸術活動推進
について

生活困窮者自立支援制度 について

村 松 まり子 議員 (公 明 党)



Q 今回の改正法で子どもの学習・生活支援事業が強化されたが、今後、どの様に取り組んでいくか。

A 今回の制度改正では、子どもやその保護者の生活習慣・環境の改善に向けた支援、高校を中退、あるいは行っていない子どもの進路選択の相談支援などが支援項目として追加された。制度改正の趣旨や市内の実態を踏まえながら、関係する機関と調整を行い、実施に向けて検討していきたい。

■安心安全なまちづくりについて

リニア中央新幹線関連事業の 取り組みは

湯 澤 啓 次 議員 (会派のぞみ)



Q 広域的新施設候補地と重なる代替地エリアへの対応は。

A 南信州広域連合で検討する広域的新施設の候補地と重なる座光寺共和地区の代替地整備については、施設の動向に注視しながら整備のエリアを検討していく。候補地となる地域の皆さんへの説明は、今後も必要な場面を見ながら適切に対応したい。

■地域人教育によって加速する人材サイクルの構築■スーパードリージョン形成に向けた飯田市の取り組みについて

幼児・児童への 虐待防止対策について

木 下 容 子 議員 (市民パワー)



Q 虐待された子の多くは親の許へ帰る。虐待しないで行われるような、親へのサポートが必要ではないか。

A 親が虐待しないようにするために、早期からの子育てに対する相談を重点的に行うことが重要と捉えている。その任を「子ども家庭応援センター」が担い、ネットワークを作り、関係機関と連携して取り組んでいる。地域の子を地域全体で育むことができるよう、これから一層の子育て支援に尽力していく。

■ダブルケア対策について

市長の消費税に対する 認識について

後 藤 莊 一 議員 (日本共産党)



Q 今年10月の消費税増税は「複雑でわかりにくい」との声を聞くが、どう思うか。

A 今年10月に予定されている消費税率の改正については、軽減税率の導入や、キャッシュレス決済に対するポイント還元など、それぞれの内容が市民の皆さんにとって分かりにくいものになっていると考えている。市としては、市民の皆さんからの問い合わせや相談に対して、丁寧に説明をしていく。

■市の財政について

リニア新時代の土地利用、 リニア長野県駅のあり方は

新 井 信一郎 議員 (会派のぞみ)



Q リニア長野県駅周辺への「移住・定住」政策ならびに、「地域振興・広域交通の拠点」のあり方について。

A 「駅前に暮らす」という概念に対し、新たな時代の要請に応え得る住宅地のあり方を更に検討する。駅周辺に必要な機能・施設の課題に対しては、官民連携や段階的な整備を含む事業手法を検討し、交通広場については、次世代モビリティに対応する可変性を意識している。

■危機管理について■羽場大瀬木線の開通を見越して

経常収支比率の分析は

吉 川 秋 利 議員 (会派のぞみ)



Q 税収のうち、個人市民税が約48億、法人市民税が約10億、このことについての受け止めは。

A 税収については、もちろん伸びていくことが望ましいが、現状では、このくらいの税収見込みが妥当だと考える。法人市民税の増収に向けて、産業振興の観点では、「産業振興と人材育成の拠点」の整備を進めてきたように、こうした事業を核として、今後も努力を継続していく。

■産業の振興について■教育の全体像について

市議会スポーツ振興議員連盟の活動から 矢高テニスコートの改修が実現!

矢高テニスコートは、ボールのバウンド不良や水はけが悪く、練習も十分にできない状況となっていました。市議会スポーツ振興議員連盟では、利用団体や市教育委員会と懇談を重ね、この度、コート面の改修が実現しました。

3月下旬には、利用団体と飯田O I D E長姫高校の総勢40名によって、コートのラインが張られ、今春より利用ができます。



一列になってライン張り



重機により表層を耕して整地

平成30年度後期 政務調査活動報告会

飯田市議会の各会派で実施した政務調査について、3月20日に報告会を開催しました。各会派の報告した内容は以下のとおりです。

■ 会派のぞみ

- 「上山型温泉クアオルト事業」について（山形県上山市）
- 特定非営利法人きらりよしじまネットワーク 住民自治（山形県川西町）
- 「道の駅南アルプス長谷」を拠点とした自動運転サービス実証実験（長野県伊那市）
- 「自動運転サービスの現状と将来への課題」先進モビリティ株式会社（東京都目黒区）
- 国会議員への要望・陳情活動（東京都千代田区永田町）

■ 公明党

- 日進市におけるE S Dの取り組みについて（愛知県日進市）
- 伊勢市の地域共生社会の実現に向けた取り組みについて（三重県伊勢市）

■ 会派みらい

- 「ゆめみらい南信州」を通じた広域行政課題の調査研究
研修会Ⅰ 阿南町議会の議会活性化への取り組み、信州アトムの視察（長野県阿南町）
研修会Ⅱ エス・バードの施設見学、信州大学の取り組み（長野県飯田市）

■ 日本共産党

- 第46回市町村議会議員研修会（静岡県静岡市）

■ 市民パワー

- 「遠野わらすっこプラン」の取り組みについて（岩手県遠野市）
- 「オガールプロジェクト」の取り組みについて（岩手県紫波町）
- 「宝を生かしたまちづくり」の取り組みについて（岩手県二戸市）



行政視察イメージ



前号から反省、課題検討

「読みやすさ」「親しみやすさ」をめざして 議会だよりをリニューアル! 第2弾

前月号から紙面を全面的にリニューアルしました。「文字が大きくなって、読みやすくなった」「議員の顔がわかるようになった」など多くの感想をいただきました。今回号も、いただいたご意見を参考に改良しました。表紙は引き続き検討していきます。ぜひご意見をお寄せください。

総務委員会

3月8日に委員会を開催しました。委員会の様子はYou Tubeでご確認ください。



2年間の調査研究や懇談などの活動から委員会において議論を重ねて執行機関への提言・提案としてまとめました。

調査研究テーマ

地域コミュニティのあり方について

1 施策への取り組み

〈既に実施されている施策の強化・継続〉

- 地区版の加入促進チラシの作成費の補助
- モデル地区を設定した未加入状況調査への補助

- 組合加入促進コーディネーター（区長等20名）活動助成

- 全市版加入促進チラシの作成

- 市民課や自治振興センター窓口で転入者への加入案内チラシの配布と加入促進案内（承諾が得られた場合は加入促進コーディネーターから後日詳細案内）

〈新たな施策の提案〉

- 地域自治区制度の研究、新たな制度の設計の検討

- 「地域協議会」の本来の役割の見直し
- 全市版加入促進チラシの効果的見直し

- 加入促進（組合、消防団等）に向けた情報提供のあり方の検討

- 組合加入促進の成功事例を情報共有できる仕組みづくり

- 不動産事業者と各まちづくり委員会等、及び市との連携協定等による加入促進（川路地区では、三者による取り組みが始まっている）

と、不動産の管理に合わせた組合加入への取り組み

- 9月の防災の日に照準を合わせた全市の重点加入促進月間の設定

- 外国語版加入促進チラシの作成

- 市民課窓口と加入促進コーディネーターの連携の強化

- 組合加入率を正確に把握し未加入者数の実態を明確にしたうえで、各地区の取り組みを支援

- パワーアップ交付金の増額要望が各地区から強く出されていることから「いいだ未来デザイン2028」に鑑みた交付のあり方の検討

- 男女共同参画の視点から、子ども（児童・生徒）を含めた社会全体で男女共同参画の意識啓発を行い、女性の参画を促すための地道な取り組み

2 新時代に向けた地域経営

の新しい取り組みについて

- ①組合未加入問題や加入世帯の



脱退、その先の組合の消失といった問題の解決への活動は、まちづくり委員会や地域だけでは

では充分に対応できないところまできていることから、地域自治区制度の研究、新たな制度の設計の検討が求められます。

②まちづくり委員会の運営において、担い手の負担感と疲弊が増し、地域の課題や中長期的な展望を議論する余裕がない現状が見られることなどから、現在、半ば形骸化しているケースもある「地域協議会」の本来の役割を見直す必要があります。

③若い人のネットワークから公民館活動への参加を促すことよって「人づくり」のインキュベーターとしての機能を、今一度公民館に見出し、地区にプラスのスパイラルが形成されていくことが望まれます。

④地域自治組織や公民館のあり方などについて、「いいだ未来デザイン2028」に鑑み、飯田市の将来にあつては住民がどのように地域に関わっていったらよいかについて、まちづくり委員会等の経験を持つ市民を交えての検討を行うよう提案します。



所管事務調査研究に基づく「意見交換会」を開催

社会文教委員会

3月11日及び12日に委員会を開催しました。委員会の様子はYou Tubeでご確認ください。



各テーマについて、2年間の調査研究や懇談などの活動から委員会において議論を重ねて執行機関への提案としてまとめました。

調査研究テーマ 子育てに最適な地域とは

1 コミュニティスクールについて

(1) コミュニティスクールについては飯田市の場合、学校運営協議会を要として運営されており、参加者を中心に徐々に周知がされてきた。しかし、PTA、まちづくり委員会、ボランティアをはじめとして、まだまだ知れ渡っているとは言い難い。教育委員会を中心に、一層の啓発活動に取り組まれない。

(2) 各学校のコミュニティスクールの運営、とりわけ広報活動や各組織の横展開を充実させるため専門官は必要と考える。現行の公民館主事がコーディネーター役を担うことも含め今後検討されたい。

2 放課後児童クラブについて

(1) 児童クラブのさらなる拡大が望まれている。小学校高学年児や長期休みでの受け入れができるよう検討されたい。

(2) 教育委員会と支援員との十分な意思疎通が図られるよう懇談会の内容を充実されたい。

3 公立保育園にかかる延長保育や未満児保育について

(1) 今年10月に予定されている「幼保無償化施策」の詳細は不明だが、保育士の不足や待機児童対策が予想される。特に保育士の確保については、労働環境の整備、保育経験者の再雇用、飯田女子短大卒業者への働きかけなど早急に実施されたい。

(2) 国の施策と地域要望（延長保育・未満児保育の実践）との整合性を図れるよう、地域との協議を十分に行われたい。

4 小中学校の空調設備の整備について

昨年の猛暑を受け、小中学校の普通教室への空調設備が2019年度に予定されている。国への補助金の働き掛けも含め、予定通り計画が行われるよう（施策を）進められたい。

期別	対象校	平成31年(2019年)
I-1期	小学校>伊賀良・上郷・松尾・丸山	1月中旬 5月下旬
I-2期	小学校>鼎・竜丘・座光寺・下久堅・山本	2月下旬 7月中旬
I-3期	小学校>追手町・浜井場・龍江・川路・上久堅	5月初旬 8月末
I-4期	小学校>千代・和田・三穂・千栄・上村	5月初旬 8月末
II期	市内中学校	7月下旬 12月末

市内小中学校エアコン設置工事スケジュール

調査研究テーマ 介護予防について

1 昨年10月に回収した高齢者へのアンケート結果を集計し、分析して、施策に反映するとともに、その結果については議会に報告すること。（平成30年第1回定例会委員会附帯決議項目1）この中では特に独居高齢者アンケート結果を分析し、施策に反映すること。

2 平成30年第1回定例会委員会附帯決議に関して項目2及び3についても中間報告として折に触れ議会に報告すること。

関係団体との懇談からの提案

1 飯田市民生・児童委員協議会会長会との懇談からの提案

(1) 民生児童委員の役割を研修会などで改めて明確にすること。

(2) 民生児童委員へのバックアップ体制をより強化すること。

2 飯田下伊那歯科医師会との懇談からの提案

(1) 口腔ケアが、生活習慣病、糖尿病、心臓病などに抑止効果が高いことの啓発活動を強化すること。

(2) 現在、飯田市としては歯科衛生士を臨時雇用しているが、口腔ケアの健康への重要機会をとらえて、研修事業、啓発事業を強化されたい。

産業建設委員会

3月13日及び14日に委員会を開催しました。委員会の様子はYou Tubeでご確認ください。



各テーマについて、2年間にわたる調査研究や委員会活動から、委員会において議論を重ね、執行機関への提案としてまとめました。

調査研究テーマ

道と景観（ランドスケープ）について

西部山麓線、竜東・竜西広域農道や信濃路自然歩道等から展開する景観はポテンシャルが高く、道の活用は、ツーリズム、癒し、健康、地域づくり等に通じることが明らかになってきた。また、リニア・三遠南信ネットワークが整備される大交流時代の到来を前に、飯田市の「道」や景観が持つ潜在的価値をあらためて洗い出し活用していくことは、新しいまた意義ある政策と考える。次の3点について提案する。

1 「道」と景観（ランドスケープ）を、「飯田市観光振興ビジョン推進ロードマップ」など、今後の観光戦略を推進する視点として重視されたい。特に、西部山麓線、広域農道（竜東・竜西）や信濃路自然歩道等の活用について、地域と協働し観光地域づくりの資源として磨かれたい。

2 「道」と景観（ランドスケープ）を、飯田市

の土地利用基本方針等に反映されたい。また、必要に応じ関係計画の見直しや、関連する道路整備を進められたい。

3 「道」と景観（ランドスケープ）を、

地域磨きや健康づくり等につなげ、シビックプライドの醸成や飯田市への人の流れをつくる視点として重視し、総合政策的に「いいだ未来デザイン2028」を推進されたい。

調査研究テーマ

農業振興ビジョンについて

調査研究の中で、特に担い手不足への対応が重要課題であり、ブランド化や農地有効活用などの重点施策を推進するためにも、農業振興センターを中心とした関係機関の協働による推進体制の更なる強化が不可欠であるとの結論に至った。そこで、次の3点について提案する。

1 担い手確保について

（1）新規就農者（Ｉターンなど）において住宅問題は大きな課題の一つであり、空き家・優良農地情報確保などに対し、庁内連携、地域内連携を深められたい。

（2）親元就農、小規模・兼業農家に対する支援



伊賀良北方地区から眺めた南アルプス

策を要望する意見が複数あった。営農資金や農業機械等が潤沢でない小規模な農業者の現状及び支援策のニーズを早急に把握し、課題整理を実施した上で市独自の手立てを検討されたい。

2 農地の有効活用、農村環境保全について

（1）小規模農家だけでは限界があるため、集落営農化、法人化を進めるための人材確保（協力隊などの外部人材を含む）、マネジメント支援に積極的に取り組まれたい。

（2）人口減少の進展に伴い、農地が適切に利用・管理されず周辺に悪影響を与える事例の増加が想定される。国は「土地所有に関する基本制度」の見直しを検討しているが、議論の方向性を注視しながら、市としても独自に「農地の条件に応じた利用・管理」に関して研究を進められたい。

3 各地区の人・農地プラン推進について

（1）農業振興センターを中心とした関係機関の協働による推進体制の強化に努められたい。

（2）各地区農業振興会議が今以上に機能するため、の支援策を講じ、特に現場が抱える固有の課題に対応されたい。



農業の担い手の皆さんとワークショップ形式による懇談

リニア推進 特別委員会

3月18日に委員会を開催しました。委員会の様子はYou Tubeでご確認ください。



2年間の調査研究の報告から委員会として、リニア関連事業に向き合う視点、申し送り事項をまとめるとともに、執行機関へ提言を行いました。

1 市民の声が生きる活動へ

平成30年6月に当局宛に提出した「要望書」の経緯から、市民、ことさら関係地区の住民の声を聴き執行機関側の取り組みを質すことは、議会本来の活動と考える。引き続き「要望書」に沿った対応への注視が求められる。

今後も、事業が関係する地元については、関係者の意向を尊重する中で、意見交換会などの開催を通じた事業に向き合う活動が大切である。

また、現行の議会報告会で寄せられるリニア関連へのご意見の中で、本特別委員会の活動に該当する件については調査研究を行い、必要に応じ管内視察等を実施しながら、本特別委員会の対応の結果を迅速にお伝えすることが肝要である。

加えて、事業の進捗に伴って委員自らが聴く市民の声や課題について、本特別委員会の活動への反映に不断の努力が求められる。

2 更なる学び

①平成30年度の管外視察において調査研究を行った、富山県高岡市の「新高岡駅の整備」(北陸新幹線)は、事業が同規模である本市において、施設整備のあり方と共に事業費の精査も、議会として参考とすべきである。

②自動運転システム、二次交通などは、地域の拠点を繋ぐ起点となるリニア駅周辺整備に大きく関連することから、新しいモビリティのあり方について研究する必要がある。

③リニア関連事業に生かすべき知見を取り入れるために、学者、企業などからの学習を重ねる必要がある。

④飯田市土地利用計画における駅周辺整備に関連する事項について、理解しておくことが求められる。

⑤講演会の開催(主催)などを通じて、議会として市民と共にリニアと都市づくり等について考える機会を創出する。



新高岡駅整備について行政視察を実施(平成30年11月)

執行機関への提言

1 事業の対象となる住民のみならず、事業所への丁寧な対応を強く要望する。

2 リニア駅周辺整備については、リニア駅周辺整備基本構想の理念、基本計画の整備コンセプトのもとに、市民、民間事業者等のご意見やアイデアを生かし、「訪れた人の脳裏に、コンコースを出た瞬間が生涯にわたって焼きつくような駅空間」「伊那谷への誘(いざな)」地域との協力が生み出される場」を創り出されたい。

3 リニア駅周辺整備基本設計の策定にあたっては、事業方法等の検討を重ねる中で、先行きを見据えた長期的財政見通しを立てた上で、財源と事業費を精査されたい。

4 駅周辺整備はもとより、リニア関連事業の進捗状況等を機会あるごとに市民に伝え、リニアの情報が市民と共有できるような広報に努められたい。



風越山とリニア中間駅の鳥瞰イメージ(デザインノートより)

議員紹介

議員の人となりなどを議員自らが紹介します。(議席順に掲載)



～ リニアについて ～

ごとう しょういち
後藤 庄一

私がリニアとかかわったのは、約50年前、飯田工業高校の時代でした。当時国がリニア新幹線の開発を始めた頃で、先輩たちが原理的なリニアモーターカーを文化祭に展示し、私たちの年代も文化祭にこのリニアを少しマイナーチェンジして展示することになりました。試作したのは、今の浮上型ではありませんでしたが、原理的には今日のリニアモーターカーとほぼ同じ原理で、専門的に言うと回転型モーターの、ローターとステーターを切って伸ばし、ローターを土台にしてステーターを動かすというタイプのものです。

当時感じたのは、リニアモーターはやはり回転型モーターと違い、エアギャップ(空隙)が大きく、リニアモーターは回転型と比べてどうしても漏れ磁束が大きくなるのが欠点で、今でもエネルギー効率が悪いのが課題になると思っています。もし開業した時には、環境に加え、漏れ磁束や、リニアのエネルギー消費が問題化するのではと心配しています。



～チャレンジ・マラニックin遠山郷～

みなと たけし
湊 猛

昨年秋に12回目となる大会を開催し、全国より150名のランナーの皆さんが参加されました。南アルプスエコパーク・ジオパークを思い切り走り抜き、満喫いただきました。タイムや順位のないマラニックとは、マラソンとピクニックを合わせた造語です。天候にも恵まれ、南アルプスの“美景”、遠山郷の“美食”を楽しみながら、皆さん完走されました。ランナーの皆さんから心温まる感謝の言葉いただき、うれしく思っています。実行委員長として、今後も地元とランナーの皆さんとの親睦を深め、大会を継続してまいります。



表紙
紹介

がんばるとるに!! 東野

東野地区のシンボルである大宮通り桜並木において、4月7日の日曜日に『大宮通り桜まつり』が開催されました。恒例の親子ふれあい写生大会をはじめ、フリーマーケット、各種団体による演舞、演奏及び飲食販売など多くの催しのほか、新たな試みとして「桜並木を撮ろう」と題した撮影会も行われ、大いににぎわいました。

市議会ウォッチング

平成31年 第1回定例会を
傍聴された方のご意見を紹介します

◆真剣に質問や回答をしている姿を見て、身が引き締まる思いがしました。

議会の動き (予定)

- 第2回(6月)定例会は6月5日(水)開会です。
- 一般質問は、6月17日～18日の予定です。
- ※議会への請願・陳情の締め切りは
5月30日(木)午後5時です。
議会事務局へご提出ください。

広報広聴委員会

委員長	新井信一郎	副委員長	古川 仁
委員	岡田 倫英	塚平 一成	小林 真一
	熊谷 泰人	木下 容子	原 和世

どうする どうなる

ここに
注目!

全員協議会などにおける協議事項や報告事項をご紹介します。

結いの心でいのち支える「飯田市自殺対策推進計画」

飯田市の自殺死亡率は、国や県と比較して高い傾向にあります。また、女性より男性の比率が高く、年代は30～60歳代が多い統計結果があります。自殺の原因や動機は、男女ともに健康問題が多く、経済問題や家庭問題も要因とされています。

この計画は、誰も自殺に追い込まれることのない飯田市の実現を目指して、「自殺に対する正しい知識の啓発及び対策の周知」「自殺対策を支える人材の育成」「地域におけるネットワークの強化」「生きることの促進要因につながる対策」を基本施策としています。また、「高齢者対策」「生活困窮者対策」「勤務・経営対策」「妊産婦・子育て対策」を重点施策として取り組む計画となっています。

推進体制は、「ひとりで悩んでいませんか、相談できる場所がある」をキャッチフレーズとして、相談しやすい環境の充実などに取り組むとともに、相談機関の啓発と周知、連携事業などに取り組むとしています。

計画期間は、2019年度から2022年度までの4年間です。

